

武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員と中高生世代との意見交換会
報告書

(令和6年9月16日開催)

令和6年10月

武蔵野市

目次

1. はじめに	2
2. 実施概要	3
(1) 募集方法	3
(2) 申込者報告	3
(3) 参加報告	3
3. 実施結果	4
(1) 開会・趣旨説明	4
(2) 各テーマの説明	4
(3) 自己紹介・グループトーク	4
(4) 策定委員による発表	4
A グループ	5
B グループ	7
C グループ	9
D グループ	11
(5) 全体共有	13
(6) 参加特典の配付と閉会	13
4. 参加者アンケート結果	14
5. 参考資料	20

1.はじめに

市では、昭和 46 年に第一期基本構想・長期計画を策定して以来、現在まで、定期的に計画の調整、策定を行い、これらに基づいて計画的な市政運営を推進してきました。

長期計画は、市の目指すべき未来の姿を示し、それを実現するための政策を決める大切な計画です。計画期間は 10 年間ですが、20～30 年先を見通した長期的な視野に立ち、策定しています。

令和 5 (2023) 年 12 月に市長選挙が行われたことに伴い、武蔵野市長期計画条例第 3 条の規定に基づき、実行計画（第六期長期計画・調整計画）の見直しを行い、令和 7 (2025) 年度から令和 11 (2029) 年度までの 5 年間を計画期間とする武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画（以下、「第二次調整計画」）案を作成することになりました。令和 6 (2024) 年 7 月 25 日に市長より、市民委員から構成される第二次調整計画策定委員会に対して諮問がなされ、計画案の作成に向けて、第六期長期計画・調整計画から読み取ることが難しい選挙公約に関連したテーマに絞って議論しています。

計画案の作成にあたっては、第一期基本構想・長期計画策定以来の本市の特徴である、市民参加・議員参加・職員参加を中心とした「武蔵野市方式」を継承するとともに、市民との意見交換会、市議会議員との意見交換、オンラインプラットフォームを活用した意見募集など、様々な手法を用いて意見聴取を行っています。

今回、第六期長期計画・調整計画策定時と同様に、市の将来を担う中高生世代の意見を積極的に取り入れることを目的として、本意見交換会を開催しました。

実施にあたっては、令和 5 年 4 月 1 日に施行された武蔵野市子どもの権利条例の趣旨に沿って、参加者である中高生世代が自由に発言できる場づくりを重視し、策定委員や市事務局は参加者の意見等に耳を傾け、必要に応じたサポートを行うという姿勢で実施しました。

当日は、16 名の中高生世代にご参加いただき、グループに分かれて第二次調整計画で議論しているテーマについてフリートークを行いました。トーク終了後は、各グループのまとめやコメントを策定委員より発表し、全体に共有しました。

2.実施概要

(1) 募集方法

市内在住・在学の中高校生世代（12～18歳）の方を対象に、市報8月1日号で広く公募するとともに、市内の中学校及び高校への案内チラシの配架、SNS投稿、FMむさしのへの出演など、様々な手法を活用し、参加者を募集しました。また、中高生世代ワークショップ「Teens ムサカツ」の参加者や、中学生・高校生リーダー養成講座登録者にも声掛けを行いました。

(2) 申込者報告

在籍	学年	人数
中学校	1年生	3名
	2年生	3名
	3年生	4名
高校	1年生	4名
	2年生	5名
	3年生	2名
合計		21名

※募集定員は20名程度でしたが、応募者全員の参加決定を行いました。

※市内在住15名、市外在住6名

(3) 参加報告

日程：令和6年9月16日（月・祝）午前10時から正午まで

場所：むさしのエコレポート

参加人数：16名（4グループ）

第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会委員 10名

在籍	学年	人数
中学校	1年生	2名
	2年生	3名
	3年生	2名
高校	1年生	4名
	2年生	4名
	3年生	1名
合計		16名

※市内在住 13名、市外在住 3名

傍聴者1名

3.実施結果

(1) 開会・趣旨説明

はじめに、第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会の委員長から開会あいさつを行いました。

その後、事務局から全体スケジュールと意見交換会開催の趣旨について説明しました。



委員長あいさつ

(2) 各テーマの説明

第二次調整計画の策定で議論している各テーマの課題や中高生世代に話してもらいたいことなどについて、事務局から説明しました。

説明資料の作成にあたっては、事務局が8月中旬に受入れを行ったインターンの大学生の意見を取り入れながら、各テーマを担当する各課と調整を行い、中高生世代にも伝わりやすい内容となるよう工夫しました。



テーマ説明

(3) 自己紹介・グループトーク

自己紹介の後、策定委員の進行のもと、グループトークを行いました。冒頭のみ、グループごとにテーマを指定しましたが、その後は各テーマについて自由に話し合いました。

1. 就労を含めた高齢者の社会参加の支援
2. 子育て世代への外出支援
3. 今後の学校改築のあり方の検討
4. 吉祥寺のまちづくり（イーストエリア・パークエリア）



自己紹介の様子

(4) 策定委員による発表

グループを担当した策定委員による発表を通じて、全体に共有を行いました。

※グループトークの要約と発表の要録を次ページから掲載いたします。全文録は、市ホームページに掲載していますので、右記二次元コードからご参照ください。



【グループトーク 要約】

1. 就労を含めた高齢者の社会参加の支援

■課題

- ・高齢者が働きたい気持ちはあるけれど、情報が少なかったり、交通手段が不便なことが問題。
- ・高齢者との交流の機会が少ない。

■提案

- ・高齢者が働ける場所や情報をもっと提供してほしい。
- ・テンミリオンハウスなどで世代間交流のイベントを開いて、中高生も参加できるようにしてほしい。
- ・高齢者が地域の活動に参加しやすくなるような交通手段のサポート（例えば、タクシー券の配布など）を検討。

3. 今後の学校改築のあり方の検討

■課題

- ・学校の設備（特に水道）が不便で、飲み水がぬるい。
- ・図書館が過ごしにくい環境になっている。
- ・体育館や校庭でボール遊びができないことがある。

■提案

- ・学校にウォーターサーバーを設置して、冷たい水を飲めるようにしてほしい。
- ・学校の図書館にソファやクッションを置いて、リラックスできる環境にしてほしい。また、地べたに座れるエリアなど、過ごしやすい空間を作る。
- ・放課後や休日に体育館や校庭を開放して、自由に運動できる場所を作してほしい。

4. 吉祥寺のまちづくり

■課題

- ・夜になると治安が悪く、ナンパや声をかけられることが多い。
- ・中高生が集まって過ごせる場所が少ない。

■提案

- ・街灯を増やしたり、防犯カメラを設置したりして、夜も安心して歩けるようにしてほしい。
- ・武蔵境のプレイスのように、中高生が自由に集まって交流できる場所を吉祥寺にも作してほしい。
- ・プレイスのB2フロアのような、いろいろな活動ができるスペースを作って、中高生向けのイベントを開催してほしい。
- ・中高生が気軽におしゃべりできるスペース（騒いでも大丈夫な場所）を設置してほしい。

5. その他の意見（中高生以外の意見も含む）

■テンミリオンハウス

- ・テンミリオンハウスについて、もっと多くの人に知られるように広報を強化してほしい。
- ・テンミリオンハウスで駄菓子屋やボードゲームのイベントを開催し、子どもたちと高齢者が自然に交流できる環境を作る。

【策定委員による発表 要録】

A班は非常に盛り上がり、非常に勉強になりました。まず驚いたのは、中高生にとって武蔵野市は「西高東低」の現状があることです。西側のほうが設備や環境が良く、吉祥寺方面は劣るという意見がありました。

意見の中でも特に強調されたのは、プレイスのB2フロアのように、みんなが自由に過ごせる場所が吉祥寺にも必要だという点です。声のトーンを気にせず、無目的に集まれる場所が欲しいとのこと。市の職員の方々には、この要望をぜひ覚えておいていただきたいです。新しい施設ができる際には、中高生が安心して集まれる場所を考えるべきです。

また、テンミリオンハウスの話題も上がり、小中学生が気軽に寄れるような駄菓子屋を作してほしいという提案がありました。これにより、地域の高齢者と子どもたちが交流できる場所ができるというアイデアです。

次に、小学校や中学校の設備についてですが、ウォーターサーバーが欲しいという要望がありました。ぬるい水が出てくるのが不満で、冷たい水が出るようにしてほしいとのこと。また、学童やあそべえて大人が遊んでくれる環境がとてもありがたいという声もありました。

さらに、学校の図書館についても意見が出ました。ソファなどを置いて、もっとくつろげる居心地の良い空間にしてほしいという要望です。

私が感動したのは、中高生と話してみると、市に対する要望に非常に熱意があり、現実的でクリエイティブなものが多いことです。市の職員の方々、プレイスのような素晴らしい施設を作るのは難しいかもしれませんが、「西高東低」の現状を改善し、吉祥寺界限でも中高生が気軽に集まれる場所を提供することをぜひ考えていただきたいです。中高生による陳情を市長に出そうかと考えるほど、この問題は重要だと感じています。よろしくお願いします。



グループトークの様子



策定委員による発表の様子

【グループトーク 要約】

2. 子育て世代への外出支援

■課題

- ・子育て中の親が移動時に感じる負担が大きい。
- ・バスや電車での移動が混雑していると、子連れの親が気を遣う。

■提案

- ・子連れ専用バスや優先席を設ける。
- ・子育て世代が使いやすい交通手段や割引制度を導入する。
- ・子どもを連れている親を支援するマークを導入し、周囲の支援を促す。
- ・高齢者の運転手が登録制で子育て世代をサポートする仕組みを作る。

3. 今後の学校改築のあり方の検討

■課題

- ・学校の規模や校舎の設計が先生と生徒の距離に影響する場合がある。

■提案

- ・先生との距離が近い校舎の設計を考える。
- ・生徒が意見を言いやすい環境を整え、授業の改善に役立てる。

4. 吉祥寺のまちづくり

■課題

- ・中高生が気軽に集まれる場所が少ない。

■提案

- ・中高生が自由に集まれる場所や施設を増やす。
- ・勉強できる場所を駅の周りだけでなく市内に点在させる。
- ・勉強できる場所や、音楽を練習できる場所を増やす。
- ・多世代が交流できるスペースを設け、視界に入るような設計を考える。
- ・地元の大学生をコミセンの管理者として雇い、若者が安心して集まれる環境を作る。

【策定委員による発表 要録】

Bグループも非常に多様な意見が出て、本当に勉強になりました。まず、子どもがいる世帯の移動についてですが、いくつか共有させていただきます。最初に出たのが、障害がある方々が使っているヘルプマークのように、子連れの親が公共交通機関を使う際に配慮しますよという気持ちを周囲が表明するためのマークをつくるというアイデアです。これはなるほどと思いました。次に、女性専用車両のように、子連れ専用バスの提案がありました。また、高齢者の支援として、免許と車を持つ時間のある方が子ども連れの親を移動で手伝うという提案も出ました。

次に、吉祥寺のまちづくりについてです。グループ内では音楽をやっている方が多く、無料で使える音楽スペースがあれば非常に重宝するという意見が一番多く出ました。また、駅周辺だけでなく、市内全体にサードプレイスの場所を点在させてほしいという在住学生からの要望がありました。さらに、外から通っている学生からも、市民だけでなく吉祥寺に通う人たちが使いやすいサードプレイスの工夫が求められました。コミセンや武蔵野プレイスなどで世代間が分断されてしまっているところに対して、世代間や異なる背景を持つ人々が混在し、同じ空間で過ごせるような工夫が大事だという意見も出ました。

最後に学校についてですが、少子高齢化で子どもが減る中で教師の負担が減り、教師との距離が近づくため、これはポジティブな変化ではないかという意見が出ました。また、校舎の建て替え時には、生徒と教師が日常的に顔を合わせるような動線にしてほしいという提案がありました。顔を合わせないと教師との距離が遠いてしまうので、その点を考慮してもらいたいとのことでした。



グループトークの様子



策定委員による発表の様子

【グループトーク 要約】

1. 就労を含めた高齢者の社会参加の支援

- ・畑仕事やお寺での仕事、趣味の延長で絵を売ったりしている。

3. 今後の学校改築のあり方の検討

■課題

- ・学校の建物が古く、使い勝手が悪い場合がある。
- ・プロジェクターやホワイトボードを活用した授業やオンライン授業の導入については意見が分かれる。
- ・クラスの人数や学校の規模が適正でない場合、部活動やクラス活動に影響が出る。

■提案

- ・デザインよりも実用性を重視した校舎の設計を行う。
- ・黒板だけでなく、プロジェクターやホワイトボードを活用した授業を増やす際は、生徒や先生側のメリットデメリットを検討する。
- ・オンライン授業の導入は、対面授業の補完として検討するが、友達とリアルに会う重要性も考慮する。
- ・大規模な学校のメリットとして、リーダーシップ教育や部活動の充実が挙げられる。
- ・少人数学級の利点として、教師の負担軽減や生徒への目配りがしやすい点を考慮する。
- ・クラス活動や部活動を通じて、生徒同士のつながりを強化する。

4. 吉祥寺のまちづくり

■課題

- ・中高生が気軽に集まれる場所が少ない。
- ・北口エリアで用事が済んでしまい、南口エリアは利用頻度が低い。
- ・自転車駐輪場が駅から遠い場合があり、不便。

■提案

- ・吉祥寺にも武蔵野プレイスのような、中高生が自由に集まって交流できる場所を設置する。
- ・公共施設やカフェなど、中高生が気軽に勉強や交流できる場所を増やす。
- ・駅近くの自転車駐輪場を増設し、利便性を向上させる。
- ・パークエリアの個性的な店舗を維持し、全世代が住みやすいまちづくりを継続する。

【策定委員による発表 要録】

まず、テーマ1の高齢者の働く場所についてですが、各参加者のおじいちゃんたちは生き生きとやりがいを持っていて、畑仕事やお寺での仕事などに取り組んでいるため、定年後の生活に特に問題を感じていないということがわかりました。

テーマ3の今後の学校改築については一番長く議論しました。市内の中学校や私立高校に通う子どもたちの意見を聞いて、将来の学校の在り方について話し合いました。特に、黒板が必要かどうかという点が注目されました。現在のプロジェクターやホワイトボードを使った授業には、見やすい反面、先生のスピードについていけない、書くのが間に合わないなどの問題があるとの意見が出ました。黒板が必ずしも良いわけではないが、プロジェクターやホワイトボードの使い方も考える必要があるという話になりました。

また、大きい学校と小さいクラスのどちらが良いかについては明確な意見は出ませんでした。両方に良さがあるという意見もありました。中学校に入ると他の学校と一緒に部活をすることもあるという話も出ました。

最後に吉祥寺のまちづくりについてです。吉祥寺は個性的な店が多く、全世代に優しいまちというイメージがあります。特に興味深かったのが、南口のパークエリアについての話です。高校生になると吉祥寺外の人と一緒にパークエリアに行くことが増えるという発見がありました。中学生の頃は北口のマックやヨドバシ、ラウンドワンなどで過ごすことが多かったようです。また、自転車の置き場が駅から遠くて不便だという意見も出ました。



グループトークの様子



策定委員による発表の様子

【グループトーク 要約】

1. 就労を含めた高齢者の社会参加の支援

■課題

- ・高齢者が社会に参加する機会が限られている。
- ・若者と高齢者の交流が少ない。

■提案：

- ・高齢者がコーチや指導者として部活動で活躍する機会を提供する。
- ・小学校で昔の遊びや日本文化を教える活動を増やす。
- ・学校の給食時間にリモートで高齢者とつながる仕組みを作り、孤食を防ぐ。
- ・高齢者が若者の文化に触れる機会を増やし、交流を促進するプロジェクトを考える。

2. 子育て世代への外出支援

■課題

- ・子育て中の親が公共交通機関で移動する際に不便を感じる。
- ・経済的に余裕がない家庭が子育てを諦めることがある。

■提案

- ・子育て世代専用のバスやムーバスを導入する。
- ・子育て世代用のタクシーサービスを考える。
- ・リユースシステムを強化し、使わなくなった子育てグッズやおもちゃを必要な家庭に提供する仕組みを作る。
- ・朝食を食べて来ない子どもに対して、学校で簡単な朝食を提供する仕組みを考える。

3. 今後の学校改築のあり方の検討

■課題

- ・クラスの人数が多すぎると、一人ひとりの交流が減少する。
- ・学校に行きにくい子どもがいるが、現行の教室環境では対応が難しい。

■提案

- ・1クラス 30 人程度が適正と考えられる。
- ・新しい学校には、学校に行きにくい子どもが安心して過ごせる専用スペースを設ける。
- ・教室内に仕切りを設け、授業を受けやすい環境を作る。
- ・少人数でも充実した部活動ができるよう工夫する。

4. 吉祥寺のまちづくり

■課題

- ・吉祥寺に中高生が気軽に集まれる場所が少ない。
- ・南口エリアは中高生によっては利用頻度が低い。

■提案

- ・吉祥寺にも武蔵野プレイスのような、中高生が自由に集まり交流できる場所を設置する。
- ・パークエリアに個性的な店舗を維持し、全世代が住みやすいまちづくりを継続する。
- ・東急の屋上のような、無料で集まれる場所があると良い。

【策定委員による発表 要録】

まず、吉祥寺の居場所についてですが、皆さんプレイスの地下2階がとても過ごしやすいとの意見が多く出ました。防音装置があり、無料で利用できる場所をもっと増やしてほしいという要望がありました。特に高校生や中学生にとって数百円でも負担が大きいので、コミセンにもそういった場所があると使いやすいとのことでした。

次に、吉祥寺の再開発についてです。吉祥寺はアウェイ感のないホームタウンというイメージを維持してほしいという意見がありました。具体的には、大都市的なビルが林立するのではなく、公園があり落ち着いた街並みを保ってほしいとのことでした。

学校についても多くの意見が出ました。理想のクラス人数は30人くらいが良いという意見がありました。少人数であれば友情や絆が作りやすく、全学年の顔がある程度わかるからです。また、教室内に仕切りのあるスペースを設け、授業に参加できない子たちが音を聞きつつ、参加したいときだけ仕切りを取り外して参加できるシステムが参考になるという意見もありました。学校の合併には否定的な意見が多く、クラブだけの合併を模索してはどうかという提案が出ました。

子ども世代の移動については、お母さんや子どもが利用できる専用のムーブスがあれば良いという意見が出ました。

高齢者支援については、高齢者が運動コーチやストリングスのオーケストラ指導などのスキルを活かせる場所があれば良いとのことでした。また、高齢者が孤立しないために、リモートで学校給食を共有するなどの取り組みが提案されました。

その他の意見として、あそべえて朝ご飯を提供し、朝食を食べずに来る子どもたちが授業に集中できるようにする提案や、子育て支援のリユースシステムをもっと簡単に利用できるようにしてほしいという要望がありました。



グループトークの様子



策定委員による発表の様子

（５）全体共有

グループトークの様子や発表を受けて、第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会の副委員長から、参加者全体への問いかけなどを通じた共有を行いました。



全体共有の様子

（６）参加特典の配付と閉会

参加証明書及びQUOカード1,000円分を参加特典として配付しました。

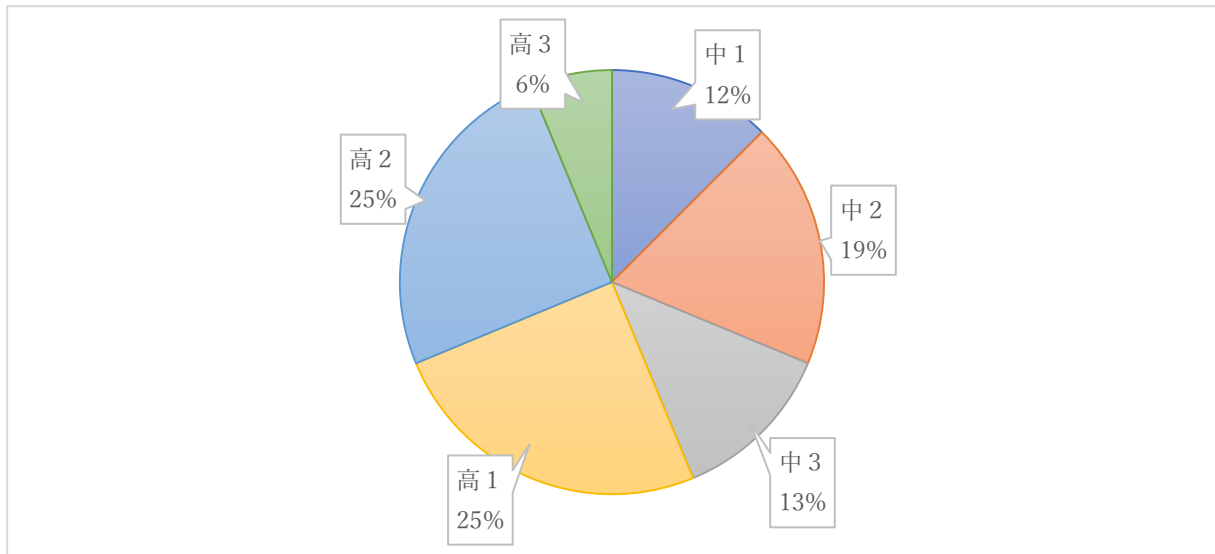
おわりに、第六期長期計画・第二次調整計画策定委員の箕輪委員から閉会のあいさつを行いました。



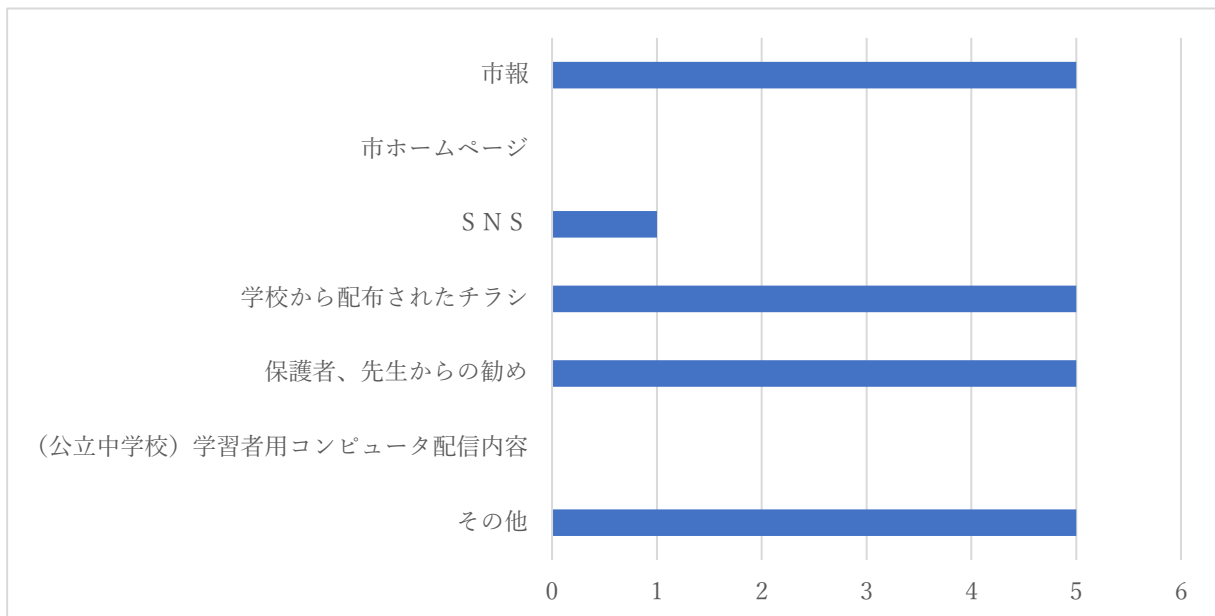
箕輪委員あいさつ

4.参加者アンケート結果

(1) ご自身(学年)について回答をお願いします



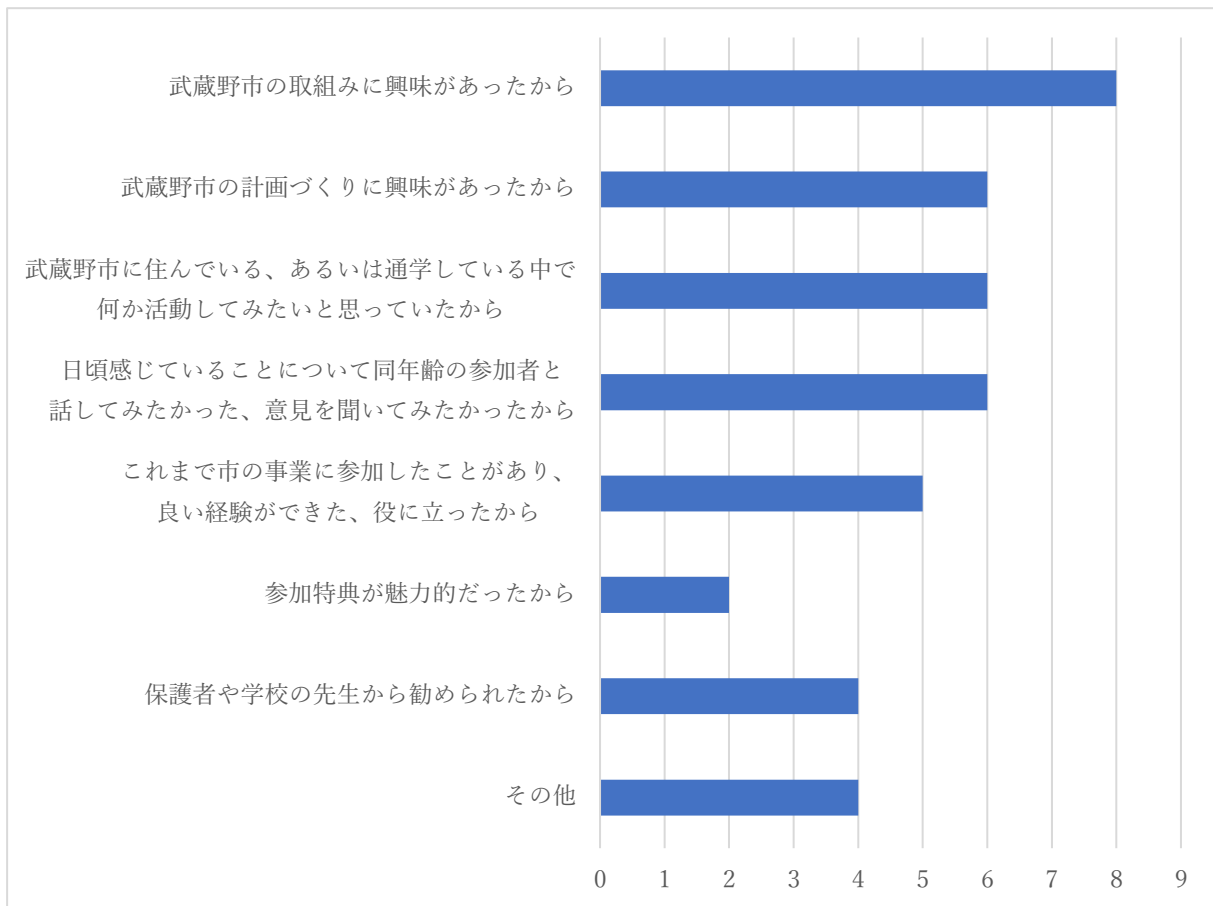
(2) 本意見交換会はどこでお知りになりましたか？(いくつでも)



■その他意見(いずれも複数参加者からの回答あり)

- ・Teens ムサカツ、中高生リーダー経由の案内
- ・友達に誘われて

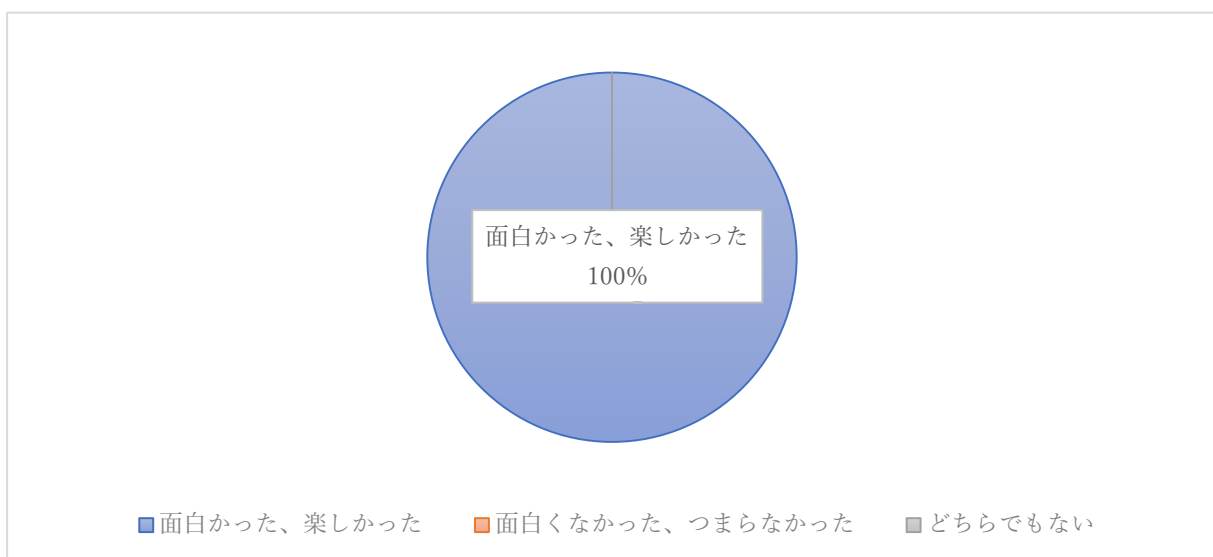
（３）今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？（いくつでも）



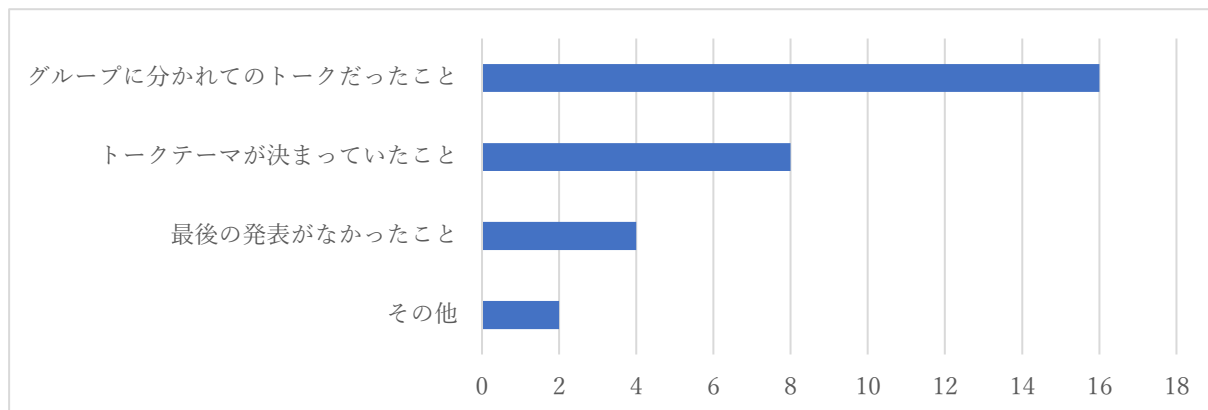
■その他意見

- ・学校の探究活動のテーマが子育て世代の外出についてだったから。

（４）参加された感想をお聞かせください



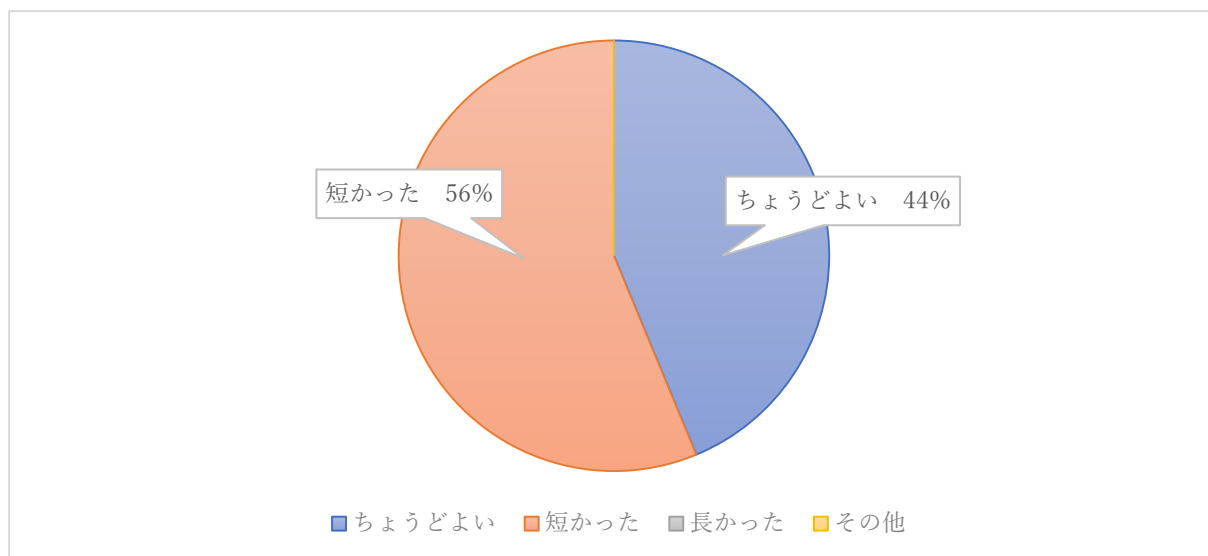
(5) 今日のプログラムの良かった、話しやすかったと感じるポイントを教えてください。(いくつでも)



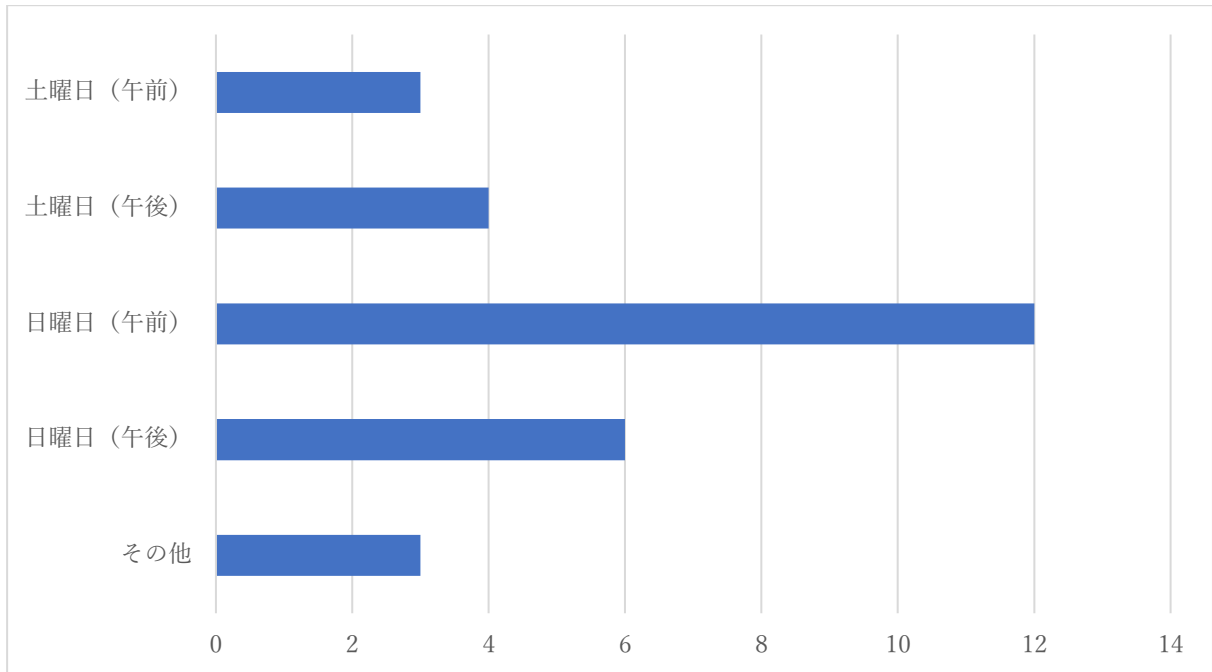
■その他意見

- ・自由に発言できること
- ・気軽に思いを話せたところ

(6) 全体の時間(2時間)について



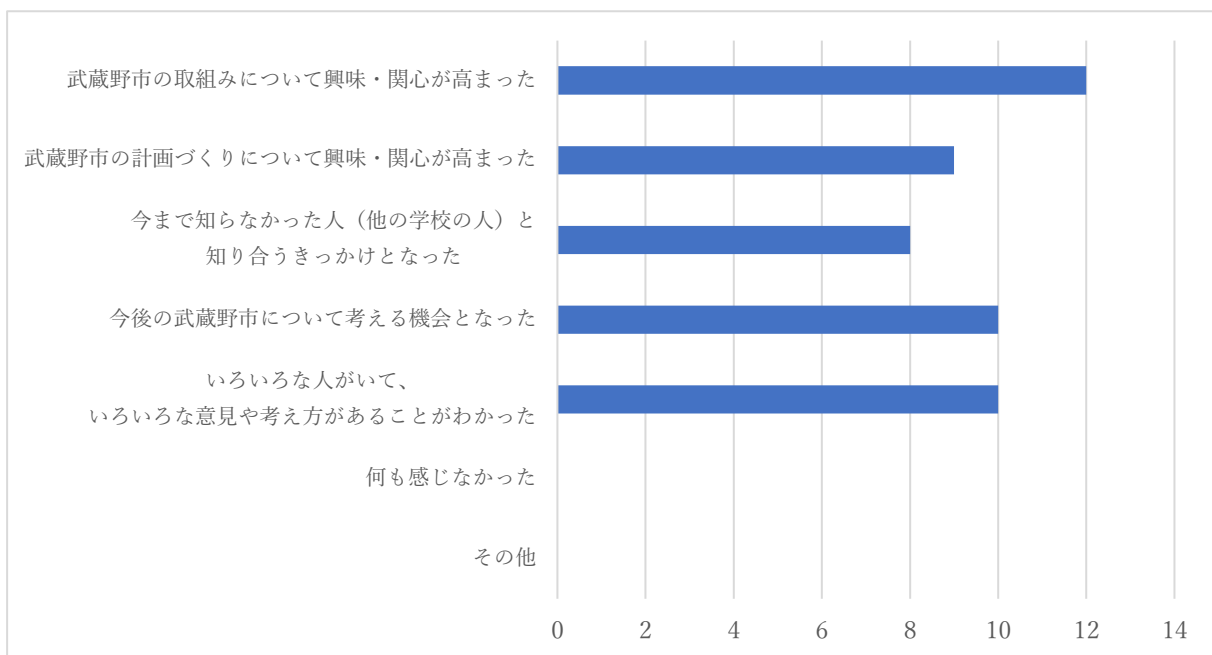
（７）開催日時について今後の参考とするため、参加しやすい日時を教えてください。（いくつでも）



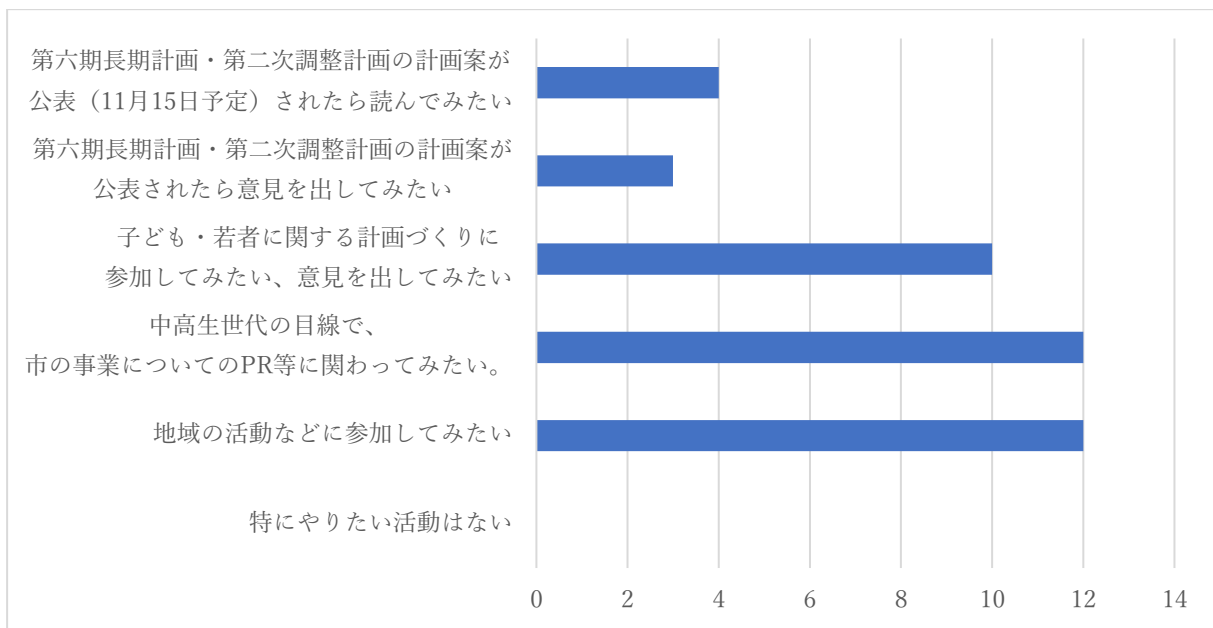
■その他意見

- ・平日の夜
- ・平日の夜にオンライン

（８）今回参加されて、どのようにお感じになりましたか？（いくつでも）



（９）今後やってみたいと思う活動はありますか？（いくつでも）



（10）今後、市が中高生世代向けのイベントを開催するとしたら、どのような内容を希望しますか

- ・イベントとは異なりますが、市の開催するイベントでボランティアスタッフとしてお手伝いさせていただく機会が欲しいと思っています。
- ・中高生交流会をして色々な人と話したい。
- ・今回のように中高生世代と大人が意見を出し合える会
- ・自由な物
- ・今回のような意見交換会
- ・様々な楽器の体験イベント、様々な世代の交流会
- ・パフォーマンス発表・色々な職業の人のワークショップ（ヘアメイク・食べ物など）・意見交換会
- ・みんなで楽しく話しあえる会がほしい
- ・市の取り組みを同年代に伝えるためにどのようなことができるか話し合いたいです。
- ・中高生だけでなく、大学生や社会人など、色々な人と一緒に話してみたい。中高生に関わる政策について話してみたい。
- ・子どもや高齢者とふれあいのあるイベント
- ・武蔵野市の活性化のための取組みについて深く知れるような内容
- ・今回と同じような中高生だからこそ話せる内容。中高生からしか言えないようなこと。
- ・今回のような意見交流会が良いです。

(11) その他、今日の感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください

- ・グループワークを通して、様々な考え方や案を知り自分の考えの幅も広がったように思います。とても実りのある2時間でした。ありがとうございました。
- ・市がパークエリアの開発に目を向けているとは知らなかった。今後意識して目を向けてみようと思う。
- ・今まで知らなかった人と色々な意見を出し合えて面白かった。
- ・自分の思った事を自由に気軽に発言できてとても話しやすかったし、委員の方々から質問してくれて話しやすかった。
- ・思っていたよりも話しやすくて、楽しめた。あまり意見が出せなかった。
- ・校舎のあり方が興味深かったです。クラスの数、人数、導線など新たな視点が新鮮でした。
- ・毎年参加していて、今回も楽しく参加できてよかった。時間が足りず、話が深まりきらなかったもので、テーマをしぼった方が良かったと思った。話し足りない人は残って話し合えるようにしてくれたらうれしいです！
- ・私だけでは思いつかなかった意見がきけてよかったです。
- ・自分たちの意見をしっかり聞いていただけてとてもうれしかったです。
- ・貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。自分一人では考えることのできない、様々な魅力のある意見をお聞きすることができ、非常に楽しかったです。今回話し合った内容を私達中高生世代で計画して市の方に提案したいです。この度はありがとうございました。またご機会があればよろしくお願いいたします。
- ・eスポーツならeの中でのグループ、スケボーならスケボー場、ラップならサイファーなど独自で成長できる場があります。そちらを部活にするというよりは既にある部活をもっと成長させられる場を作るほうが良いと思います。
- ・今まで自分が住んでいた場所なのに、市政含め、知らないことがたくさんあるのだと知った。特にプレイスのB2については知らなかったのでぜひ行ってみたい&吉祥寺にもそのような居場所が欲しい！また、市が行っている様々なことをもっと知りたいと思った（テンミリオンハウスなど...）
- ・なかなか話し合いをできる機会はなかったので、色々な意見を出したり聞いたりできて楽しかったです。
- ・普段市役所で仕事をなさっている方々や、他校の同世代の人と話し合う機会がないため、自分の身になるととても良い機会となった。また、このような話し合いの場があれば、参加したいです。
- ・自由に話せてとても楽しかった。みんな色々な意見があって良かった。
- ・どんな意見でも、皆しっかり聞いてくれてうれしかった。自分の意見が市の方に反映して下さると嬉しいです。お菓子の提供嬉しかったです！！また来たいです。ありがとうございました！

5.参考資料

(1) 募集チラシ



市の未来にとって大事なテーマ*について、策定委員と皆さんの意見交換をさせてください。

*テーマは「今後の学校改組のあり方の検討」「子育て世代への外出支援」「就労を含めた高齢者の社会参加の支援」「吉祥寺・イーストエリア・パークエリアのまちづくり」を予定しています。

対象 武蔵野市在住・在学の中高生世代

募集人数 20名程度

申込方法 2024.8.27(火)までに二次元コードから申込フォームにアクセスし必要事項を入力の上、送信してください。

参加特典 QUOカード(1,000円分)、参加証明書

当日の流れ

- ①テーマ説明
- ②グループトーク
- ③各グループ発表・共有

令和7年度から始まる「第六期長期計画・第二次調整計画」の策定委員と市の若手職員が皆さんとお話しします。

その他

- ✓ 入手した個人情報は厳重に取り扱い、本業務の目的以外では使用しません。
- ✓ お申込みいただいた方には、9月6日(金)頃までに、参加決定通知をお送りします。
- ✓ 18歳未満の方が参加される場合は、当日の写真撮影等について保護者の方の同意をいただきます。
※同意がない場合でも、イベントへの応募・参加は可能です。

<前回参加者の声>

- ・最初は緊張したが、楽しかった。
- ・他の中学校の人とかかわる機会はありませんでした、他の中学校や高校の現状が分かって良かった。
- ・市のことについて話せる貴重な機会だった、意外と自分の将来の夢や、悩みなどについても話せてよかった。また参加したい。

前回の意見交換会をきっかけに、中高一貫校から全通から編入まで実施した計画のPR動画を制作しました！ぜひご覧ください！

PR動画はこちら➡

**参加証明書を
お渡しします**

第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会事務局
武蔵野市総合政策部企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1801
Email sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

2024.9.16 月・祝 10:00~12:00
@むさしのエコreゾート
※市役所北隣
対象 武蔵野市在住・在学の中高生世代
申込み方法など、詳細は裏面をご覧ください！

(2) 当日説明資料

第六期長期計画・第二次調整計画

策定委員と中高生世代との意見交換会

令和6年9月16日(月・祝)10時~12時
@むさしのエコreゾート

お願い

- ・本日は、皆さんの意見を記録してまとめるために、**録音・写真撮影**をさせていただきます。
- ・意見交換会終了後、SNS等に投稿していただいても構いません。

投稿① ⇒ 本日参加した感想
(エコreゾートで意見交換してきた！楽しかった！)

投稿② ⇒ 参加者が話した内容
(〇〇高校の△△さんが〜〜って言ってた！)

開会

**第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員会 委員長
岡部 徹**

タイムスケジュール

10:00~	5分	開会
10:05~	3分	趣旨、本日の流れの説明
10:08~	12分	各テーマの説明
10:20~	5分	策定委員自己紹介
10:25~	5分	グループ内での自己紹介
10:30~	65分	グループトーク
11:35~	10分	策定委員による発表
11:45~	10分	参加特典のお渡し、アンケート案内
11:55~	5分	閉会(12:00終了)

本日の趣旨

目的

第六期長期計画・第二次調整計画策定に向けて、普段市政に参加する機会があまりない中高生世代から広く意見をいただき、計画案に反映する。

武蔵野市子どもの権利条約に関して

令和5年4月より施行している本条例の趣旨に沿って実施します。そのため、参加者である中高生世代の皆さんが主役であり、策定委員や事務局は参加者の意見等に耳を傾け、必要に応じたサポートを行います。

長期計画について

長期計画とは、市の目指すべき将来像を示し、その将来像を実現するための取組みを定める、**市の最も重要な計画**。

幅広い視点、そして様々な市民参加の方法で作られています。

武蔵野市の取組みは、**原則として長期計画に基づいて実行**されています。

長期計画について

昭和46年から随く、市民参加・議員参加・職員参加の「政協対話方式」。

第六期長期計画・第二次調整計画って？

今年の4月から、第六期長期計画・調整計画がスタートしました！・・・が、この計画には、昨年12月に就任した小英彦市長の思いが反映できていない部分があります。

そこで、市の条例に基づき、第六期長期計画・調整計画を見直し、新たに策定するのが**第六期長期計画・第二次調整計画**です。

第六期長期計画・第二次調整計画って？

第六期長期計画・第二次調整計画では、現計画のすべてを見直すのではなく、市長公約に関連する5つのテーマについて、議論しています。

今日皆さんにお話しただくもの5つについてです

市長公約の5つについてには、2つのテーマがありますが、今日は議決の動きと、まことの議論をうけていただきます。

第六期長期計画・第二次調整計画 策定委員と中高生世代との意見交換会

テーマ① 就労を含めた高齢者の 社会参加の支援

01 なんでこのテーマについて話し合うの？

第六期長期計画記載の「健康長寿のまち武蔵野」の実現のため高齢者がいきいきとした生活を継続するには

- 社会参加の環境が充実している必要がある
- ・ 地域でのボランティア、趣味のお稽古、買い物など

現在の定年は**65歳**・・・人生は**100年時代**＝まだまだ長い!!

◇ 就労を含めた多様なつながりを持った社会参加の仕組みづくり

02 これまで市がやってきた取組みは？

- ✓ 社会活動センター、テニサロンハウス、いきいきサロン、老人クラブなど・・・様々な活動・プログラムを実施
- ✓ 生涯学習・スポーツ・健康づくりなど各種事業・講座を実施
- ✓ シルバー人材センター・・・地域貢献かつ就労の機会を提供

03-1 何が課題なの？

！コロナ禍を通じて社会参加が出来なくなった高齢者
→ フレイル(脆弱状態)や要介護状態に
社会状況の変化に伴い**高齢者の就労意欲がUP**!

↓

就労を希望する高齢者と仕事のミスマッチ

！ 就労を含めた**幅広い社会参加の機会の確保**

03-2 何が課題なの？

第1期（2017～2020）から、何故こんな状況を生み出したのでしょうか？

出典：令和4年度高齢社会調査（内閣府）

04 今日はどんなことを話したい？

周りにいる方から聞いた話や皆さんのイメージをもとにお話しください。

- 皆さんの生活する環境(空間)の中で**高齢者**にしてほしいことは？
※例えば学校の内外で高齢者が参加できる場面があるでしょうか
- 高齢者と皆さんが同じ空間や時間を共有しやすくなるための**ツール**であった方が**良いもの**を提案してください（多世代交流等）
- 高齢者が**困っている**と思うこと → どんなサービスがあると便利？
- 中高生世代の**皆さん**が高齢者のために**出来ること**

第六期長期計画・第二次調整計画 策定委員と中高生世代との意見交換会

テーマ② 子育て世代への外出支援

01-1 なんでこのテーマについて話し合うの？

赤ちゃんを連れてのお出かけに持ち歩く荷物約**10キロ**

赤ちゃんや折り畳みのベビーカーを含めると **20キロ** を超えてしまう

バス等に乗り込む際は乗降員の手助けが必要となり、運行の遅れにつながる、ベビーカーと一緒に乗ることに苦痛を感じる方もいらっしゃる。

→ 公共交通機関を利用する移動は負担が大きい

安心して利用できる移動支援を、**子育て世代**に対しても検討したい

01-2 なんでこのテーマについて話し合うの？

こんな時どうしたいでしょうか？

- 子どもが急に熱を出しました。今日は大雨が降っています。家に車はありません。
- 自宅でも急に産気づきました。家には自分以外誰もいません。
(通常のタクシーは現金での決済から出発直前の連絡の移動ができない場合があります。)

こんな時、どのようなサポートがあれば助かりますか？

02 これまで市がやってきた取組みは？

- 1 タクシー代金の支払いに使える**子ども商品券**の配布
 - 産前→子供1人につき**1万円分**配布(専門職による支援を受けた方が対象)
 - 多胎児(双子・三つ子など)家庭→0～2歳を対象に**2万4千円分**を年齢ごとに配布
※15万円相当のカatalogギフトである出産・子育てギフトでも選択可能
- 2 地域交通網形成計画における検討
 - 自宅や指定目的地を一定期間**定額乗り放題**のタクシーサービス
 - 登録制の**エリア固定タクシー**導入
→ 新型コロナウイルスの影響でタクシー業界は、新規事業に着手が困難な状況であるため、検討は進んでいない

03 何が課題なの？

子ども商品券を追加して配布
→ タクシー以外に使用される可能性
タクシー券を配布
→ タクシーを利用しない世帯との**不公平が生じる**

！ 「タクシーサービス」の整備
→ 一定程度の利用者がいないと**採算がとれない**

タクシーの利用を必要とする世帯に**必要なサービス**を利用してもらうにはどうしたらよいのか

04 今日はどんなことを話したい？

- もし自分が子どもを連れて外出するとなったら、**どんな不便が生じるだろう？**
例) なんとなくサポートがほしい、子どもが何歳くらいまでサポートしてほしい
- **どんな仕組み**の子育て外出支援があったら利用しやすいだろう？
例) タクシー券のような経済的支援、タクシーを利用しやすくする環境整備など
例) アプリの活用・支払方法など
- バスや電車などの交通機関で**小さな子どもを連れて困っている**ときに私たちにできることは何だろうか？
例) 「子どもと子育てを応援するまち」にするため今日からできること

第六期長期計画・第二次調整計画 策定委員と中高生世代との意見交換会

テーマ③ 今後の学校改築のあり方 の検討

01-1 なんでこのテーマについて話し合うの？

武蔵野市には小学校が**12校**、中学校が**6校**あります。

● 建て替えの目安は **第60年**
そして・・・
● 多くの小中学校は **1970～80年代**に建設

↓

計画的な建て替えが必要

01-2 なんでこのテーマについて話し合うの？

① 現在の学校の規模(学校数、クラス数)は **建設当時の子ども数**で決められています。

現在と建設当時の生徒数を比べると、**半分以上減少**しています。

↓

今後の建て替えに向けて、「**中学校の適正な学校数について**」話し合う必要があります。

01-3 なんでもこのテーマについて話し合おうの？

②これらの学びを実現する学校施設のあり方として、主に次のことを実現することとしています、

- ・1人1台の学習者用コンピュータ授業等に対応した机を配置し、
多様な学習を支援できる教室環境の整備
- ・個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース等の環境整備

↓

今後の建て替えに向けて、
「**将来の教育環境を見据えた校舎について**」話し合う必要があります。

02 これまで市がやってきた取組みは？

令和2年度から市立小中学校の建て替え事業を進めてきました。

「第一中学校」「第五中学校」「第五小学校」「井之辺小学校」の4校が進行中です。

学校の中心に開放的な図書館を配置し、気軽に本に触れることができるイメージ（第一中学校）

03 何が課題なの？

現在の校舎が建設された昭和の時代と比べ、小学校の児童数、中学校の生徒数が減っています。（学年全体の人数、クラス数の減少）

↓

特に中学校では、以下のような課題が生じています。
・新築費では、他の中学校と金額を揃えようとすると試算に合わない場合があります。
・多様な人間関係を築く機会が少なくなる傾向もあります。

↓

・中学校の適正な規模（1学年あたりのクラス数）はどのくらいがいいのか
・将来の教育環境を見据えるような校舎がほしいのか
を検討する必要があります。

04-1 今日はどんなことを話したらいい？

小学校、中学校に通っている（いた）時のことを思い出しながら、考えてみてください。

テーマ①：中学校の適正な学校数・規模について

○1学年あたりのクラス数はどのくらいいいでしょうか。（2クラス？3クラス？4クラス？5クラス？それ以上？）

↓

実際に通っている（いた）小学校・中学校の現状を共有してみましょう！

04-2 今日はどんなことを話したらいい？

小学校、中学校に通っている（いた）時のことを思い出しながら、考えてみてください。

テーマ②：将来の教育を見据えた校舎について

○未来の学校はどのような校舎がいいですか。（例：ゆったりとした校舎、コンパウンド校舎 など）

○どのような点に配慮されているといいですか。（例：特別支援教育、不登校対応 など）

↓

日頃から学校で感じていること、思い描いていることを共有してみましょう！

第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員と中高生世代との意見交換会

テーマ④
吉祥寺のまちづくり

第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員と中高生世代との意見交換会

テーマ④-1
イーストエリアのまちづくり

01 なんでもこのテーマについて話し合おうの？

現在の吉祥寺イーストエリア...
道路が狭くて歩きづらい！
駅近くの駐輪場になかなか停められない！
成人向けのお店が多い！
中高生世代が気軽に通いやすい場所が少ない！

↓

みなさんのような中高生にとっても吉祥寺イーストエリアを安全・安心でにぎわいがある魅力あるエリアにするため

02 これまで市がやってきた取組みは？

- ✓ 吉祥寺図書館や吉祥寺シアターの開設
- ✓ つきまとい防止条例の制定
- ✓ 清掃回数を増やすなど環境美化についての取組み
- ✓ バラバラに配置されていた駐輪場を1つにまとめることで生まれたスペースにまちの新たな魅力と価値を誘導

03 何が課題なの？

！駅周辺の利便性
＝ 歩行者と自転車が集まってしまうことによる混雑

！中高生世代の居場所が足りない

04 今日はどんなことを話したらいい？

【駅周辺の利便性】

- 吉祥寺にはどうやってアクセスするか
- 最近交通が不便だと感じた場所は
- 駐輪場はどこにあるといいか

【中高生世代の居場所】

- 普段よく行くところは、どうしてそこに行くのか
- どんな場所なら行きたくて居たいのか
- 中高生世代の居場所として公共施設に欲しい機能

第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員と中高生世代との意見交換会

テーマ④-2
パークエリアのまちづくり

01 なんでもこのテーマについて話し合おうの？

吉祥寺は都心へのアクセスも良く、井の頭公園や個性豊かな店舗など魅力的な場所が少なくある

↓

吉祥寺パークエリアが今後ももっと魅力的なまちとして発展・継続していくため

02 これまで市がやってきた取組みは？

- ✓ 南口駅前広場の計画決定
- ✓ 建物の高さ制限の導入
- ✓ 公会堂の改修（※進行中）

03 何が課題なの？

- ！ 交通環境の改善
- ！ 古くなった建物の更新
- ！ 吉祥寺の個性は小規模なお店が多いところ...住宅を含む高層の建物の誘致が必要か併せて、高さ制限などの緩和が必要か
- ！ 公会堂の今後のあり方

04 今日はどんなことを話したらいい？

- 交通環境が悪い（パークロードのバスの通行等）と思ったところ、危ないと思ったところ
- 古いけれどもそれに魅力を感じる建物はあるか
- どんな街並みになってほしいか
- 公会堂はどんな使い方ができるかといえますか

↓

★ 吉祥寺パークエリアは何を変えて何を残すべきか

皆さんの率直な意見を
聴かせてください！

策定委員の自己紹介

—第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会委員—

○ 岡部 徹 東京大学 副学長、教授
○ 中村 彰 東京大学経済学研究所 公衆衛生学 教授
○ 木下 大生 武蔵野大学人間科学部 福祉科学科 教授
○ 久留 善武 一般社団法人シルバークリニクス 代表理事
○ 古賀 祐樹 公営市民委員（第六期長期計画・調整計画における一般公募により選出）
○ 鈴木 雅和 筑波大学 名誉教授
○ 斎藤 浩子 武蔵野大学教育学部 幼児教育学科 教授
○ 吉田 裕子 公営市民委員（第六期長期計画・調整計画における一般公募により選出）
○ 伊藤 美穂 副市長
○ 萩野 秀樹 副市長

◎：委員長 ○：副委員長

グループ内での自己紹介

- 1グループ5分程度

アイスブレイク

- 右の絵は次のうち、どれに見えますか？

- ①ピラミッド
- ②倒れた旗
- ③スリッパ
- ④ひとさじの砂



グループトーク ～11:35まで

- グループごとに4つのテーマについて自由にお話しいただきます
※最初のテーマのみ、指定させていただきます
 - ①就労を含めた高齢者の社会参加の支援
 - ②子育て世代への外出支援
 - ③今後の学校改革のあり方の検討
 - ④吉祥寺のまちづくり
- 策定委員が進行いたします

全体共有 ～11:45まで

- グループごとに発表してもらいます
- 発表は策定委員が行います

お知らせ ～11:55まで

- 参加特典は各グループの策定委員からお渡しします。
※忘れずにお持ち帰りください！
- アンケートの記載にご協力ください。
※よかったことも、悪かったことも教えてください！
今後の参考にさせていただきます！

閉会

第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員会 委員
箕輪 潤子

第六期長期計画・第二次調整計画



策定委員と中高生世代との 意見交換会

令和6年9月16日（月・祝）10時～12時
◎むさしのエコareソート

(3) 実施までの経過

	日付	内容
実施に向けた 周知・募集	7月4日	武蔵野市立小中学校定例校長会での周知
	7月12日	都立/私立中学・高等学校へのチラシ送付
	7月16日	学習者用コンピュータ・保護者アプリでのチラシ送付（市立小中学校）
	7月18日	市ホームページに掲載
	7月29日	FMむさしのゲストトークにて紹介 武蔵野三鷹ケーブルテレビ シティニュースにて紹介
	8月1日	市報8月1日号特集面に掲載
	8月2日	市 SNS 発信
	8月13日	「Teens ムサカツ」参加者、「中学生・高校生リーダー養成講座」登録者にメール送付（児童青少年課）
	8月21日	第六期長期計画・調整計画 「住んでる・住みたい武蔵野市を中高生世代が考えよう」参加者にメール送付（企画調整課）
	8月22日	市 SNS 発信
実施当日	9月16日	「策定委員と中高生世代との意見交換会」開催
実施報告	10月22日	報告書発行

※ 発信・発送する内容については、市から発信・発送した日としている。



参加者記念撮影

武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画
策定委員と中高生世代との意見交換会
報告書

令和6年10月

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課
東京都武蔵野市緑町 2-2-28
電話番号：0422-60-1801